

## オオオニバス属 (*Victoria*) の 生育および交配記録 (第2報)

田中 万夫

当園栽培記録第8号(1987)でバラガイオニバス (*V. cruziana*) 開花結実状況についての報告を行ったが、引き続き今回は、オオオニバス (*V. regia*) とロングウッドオオオニバス (*V. Longwood*) を加え、*Victoria* 属の2種1交配種(以下3品種と表す)について生育および交配結実結果を調査したので記録する。

調査には、1987年6月から育苗を始め、1988年2月に定植した株を用いた。

### (1) 生育記録

1987年11月に播種し、各種約10本の苗を得た。この苗の内各種1株ずつを、1988年2月に、熱帯スイレン温室の大水槽(130m<sup>2</sup>)中3個の木箱(180×180×60cm)に定植した。定植の時期は、1986年の *V. cruziana* の観察結果に基づいて決定した。

肥料は定植30日後に、油粕、骨粉、魚粉を混合し、直径8cmのだんご状にした乾燥肥料を1株当たり6個施用し、その後も月に1回同じ要領で施肥した。ただし、*V. Longwood* は他の2種にくらべ生長が著しく速かったため、5月以降は同じ乾燥肥料を1株当たり8個施用した。定植当初水深を25cmに維持したが、生育が旺盛な6月以降は、根上がり状態(茎頂が水面上に出る)を防ぐため2回の水深調整を行った。

定植後6カ月を経て予定どおり浮遊葉が最大に達したが、その生育状況を表1に示した。

### (2) 交配結実記録

7月から9月にかけて人工交配を行い、その後結実結果を調べた。

前回(1987)の *V. cruziana* の交配は全て自花受粉で行ったが、今回の交配はすべて他花受粉で行った。交配手順は以下の通りである。まず、花粉親から花粉を採取し、これをガラス瓶に入れて保存した。次に母株の花弁をひろげて中に水がないことを確認する。続いてこの花の柱頭を傷つけないよう注意しながら、保存して

いた花粉を脱脂綿を使って授粉した。母株には、第1日花または第2日花を用いた。また、新しい試みとして、授粉する前に花弁基部に生じる濃紅色の粘液を柱頭に少量付着させたところ結実が良好で、特に *V. Longwood* で好結果が得られた。なお、交配した花は昆虫の飛来および結実後の種子落下の防止のため、防虫網で覆い、花梗に支柱を添えて24時間は水中に没しないようにした。授粉後44~52日に種子数と1粒当たりの平均重量を算定した。

また、1988年11月から1989年1月にかけて、*V. Longwood* と *V. regia* の発芽試験を行った。播種は30℃に保った微温水に200粒ずつを水播きとした。この際、種皮には予め傷を付けた。

### 結果および考察

結実結果は表2の通りであった。*V. Longwood* を *V. regia* あるいは *V. cruziana* と交配した場合、その他の組み合わせよりも得られた種子数が少なかったが、この原因については今後さらに詳細な交配実験を行って明らかにしていきたいと思う。また、前回の観察結果を含めると、*Victoria* 属3品種には、自家交配について以下の特徴があった。自家交配による平均生産種子数は、最大が *V. regia* の410粒、最小が *V. cruziana* の294粒で、*V. Longwood* は330粒で両種の間間値を示した。次に、1種子当たりの平均重量は、最大が *V. cruziana* の0.56g、最小が *V. regia* の0.25gで、*V. Longwood* はこれらの中間の0.47gであった。

一方、前回では、8月27日以前の交配は行われていなかったが、今回、*V. regia* と *V. Longwood* で、それぞれ7月31日と8月6日に交配した結果多数の種子を得ることができた。このことから8月は *Victoria* 属の交配適期であることがわかった。

発芽試験の結果は表3の通りで、*V. regia* よりも *V. Longwood* のほうが発芽率が良かった。今後は、は種時期と発芽率の関係を明らかにしなければならないと思われる。

表1. Victoria 属 3 品種の成育状況 (最大時)

	V. cruziana	V. regia	V. Longwood
葉の直径 (cm)	100	140	180
葉縁の上曲 (cm)	15	8	14
葉柄の長さ (cm)	200	450	500
葉柄の直径 (cm)	2.5	2.5	4.0
測定日 (最大成育時)	9月6日	9月3日	8月27日

表3. Victoria 属の発芽試験結果

種名	区	
	A	B
V. Longwood	33	23
V. regia	18	12

- 表中の数字は発芽株数
- 各品種とも自花交配で得られた種子をA, B各100粒ずつ播種。  
播種日11月10日, 調査日1月10日, 水温30℃

表2. Victoria 属の交配結実結果

親 株		交配日 月.日	採種日 月.日	結実期 間(日)	種子数 (粒)	種子重量 (g)	1粒当り 重量(g)
母株	花粉親						
L <sup>※</sup>	L	8. 6	9.23	49	58	30.0	0.51
L	L	8. 6	9.23	49	307	138.8	0.45
L	L	8. 7	9.25	50	352	147.6	0.41
L	L	8. 8	9.27	51	321	151.9	0.47
L	L	8.17	10. 3	48	366	181.0	0.49
L	L	8.21	10. 8	49	306	155.5	0.50
L <sup>※</sup>	c	8.25	10.11	48	43	21.9	0.50
r	r	7.31	9.25	57	483	115.4	0.23
r	r	8. 8	10. 1	55	128	36.6	0.28
r	r	8.17	10. 8	53	462	111	0.24
r	r	9. 3	10.24	56	416	96.9	0.23
r	r	9.19	11. 5	48	280	81.4	0.29
r <sup>※</sup>	L	8.21	10.17	58	24	8.2	0.34
r <sup>※</sup>	c	9. 6	10.30	55	134	37.6	0.28
c	c	8.21	10.11	52	376	176	0.46
c	r	9. 8	10.24	47	19	9.6	0.50
c <sup>※</sup>	L	9.23	11. 5	44	7	3.8	0.54

L: V. Longwood, c: V. cruziana, r: V. regia

母株の※は開花1日目の花を, その他は, 2日目の花を使用